

高等学校 令和8年度

教科： 国語

科目 古典探究

教科： 国語

科目： 古典探究

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： ( 第一学習社 古典探究 )

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 ・ 聞	書 ・ 読					
1 学 期	【古今著聞集】 ・ 著名な和歌にまつわる語を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・ 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。	・ 指導事項 ・ 著名な和歌にまつわる語を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・ 教材 古今著聞集 ・ 一人1台端末の活用 等		○	・ 積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。 ・ 和歌の修辭について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしていたりしている。	○	○	○	14
	【今物語】 ・ 著名な和歌をふまえた語を読み、「やさし蔵人」の逸話を通して語り伝えようとしたことを読み解く。 ・ 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・ 編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。	・ 指導事項 ・ 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・ 教材 【今物語】[徒然草] ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	・ 『古今著聞集』『沙石集』と読み比べ、和歌を含んだ説話の特質について積極的に理解を深めようとしている。 ・ 助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。 ・ 随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	16
	定期考査					○	○		1
	【知音】 ・ 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・ 故事・漢語という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 物語のきまりについて理解を深める。 【伊勢物語】 ・ 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・ 歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 歌物語の特色について理解を深める。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。	・ 指導事項 ・ 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・ 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・ 教材 【知音】[伊勢物語] ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	・ 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった語を読んで、わかった内容を説明しようとしている。 ・ 歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・ 学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特色について、理解を深めようとしている。	○	○	○	17
	【枕草子】 ・ 内容・形態によって三つ大別される章段のそれぞれを読んで、文章に表れたものの見方や考え方を理解する。 ・ 随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 歌物語の特色について理解を深める。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。	・ 指導事項 ・ 内容や形態による章段の大別と、それぞれの特徴や古典特有の表現に注意して、内容や展開を的確に捉える。 ・ 教材 【枕草子】 ・ 一人1台端末の活用 等	○		・ 筆者の観察眼の鋭さに注目し、文章に登場する和歌や漢籍についても積極的に調べながら、内容を捉えようとしている。	○	○	○	17
定期考査					○	○		1	

2 学 期	<p>[源氏物語]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。</li> <li>長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容的に捉える。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。</li> </ul> <p>[四面楚歌]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。</li> <li>故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>訓読のきまりについて理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。</li> <li>教材</li> <li>[源氏物語][四面楚歌]</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を生かして長編物語を読み、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。</li> <li>内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。</li> <li>訓読のルールに従って本文を読み解き、追いつめられていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	20		
	<p>[鴻門之会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の描写を読み解くことを通じて、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。</li> <li>史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。</li> <li>作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>登場人物の描写を読み解くことを通じて、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。</li> <li>教材</li> <li>[鴻門之会]</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉え、考察を深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	18		
3 学 期	<p>[大鏡]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。</li> <li>歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容的に捉える。</li> <li>作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。</li> </ul> <p>[雑説]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の展開を的確に捉えたとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。</li> <li>本文の展開を的確に捉えたとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。</li> <li>教材</li> <li>[大鏡][雑説]</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>今までの学習を活かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。</li> <li>内容を的確に捉えるために、作品の中で使われている敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	18		
	<p>[中国の詩文]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢詩のきまりや対句表現に注意して、漢詩に表れた作者の思いを読み取り、考察を深める。</li> <li>作品の成立背景や他作品との関係を踏まえて、内容の解釈を深める方法を学ぶ。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>漢詩のきまりや対句表現に注意して、漢詩に表れた作者の思いを読み取り、考察を深める。</li> <li>教材</li> <li>[中国の詩文]</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>漢詩の形式や押韻のきまりを理解し、対句などの表現に注目して、漢詩に表れた作者や人物の思いを読み取り、積極的に考察を深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	18		
										合計	140